

デザイン 科	科目名	2年工業技術基礎(木炭素描)	担当者	金城 麻
履修学科	デザイン科			
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	1. 木炭素描による基本的な表示技術の習得(基本姿勢、ものの見方、構図) 2. 対象をしっかりと観察し、描写力や表現力を身につける。			
評価基準 及び方法	授業態度・出席…40%、課題作品…50% 発表・プレゼンテーション…10% 内容を総合的に合計し、5段階評価で行なう。			
使用教科書 及び教材	1. そのつど資料を配付。 2. 木炭紙、木炭は担当で準備。			
その他留意点	1. 課題を完成・提出することが直接評価に繋がるため、常に時間を意識させる。 2. 1～3学期を2つ(木炭素描、鉛筆素描)のローテーションで展開。			

学習計画

月	単元名	学習内容や目標	備考
4	1. オリエンテーション 目標や目的、内容を知らせ意欲を引き出す。	1. ①目的や目標、内容や評価について知らせる。 ②デッサンについての説明。 ③木炭の使い方や表現についての説明。	
5	2. ①デッサンの基本姿勢を修得する。 ②木炭で濃淡を表現する。 ・画材の使用方法を知る。 ・トーンの幅の広さを知る。	2. ①基本姿勢(イセールの使い方) ②グレースーション 木炭のみを使用せず、指やガゼーを利用したグレースーションを描く。 ③立体模写(立方体) 「空間」を意識しながら観察し描く。それぞれの辺の傾き・角度をしっかりと再現する。輪郭を強く描き過ぎないように注意。	
6	③静物画(工業製品)を描く I ・立方体の形の特徴を知る。 ・硬くてマットな質感や量感を知る		
8	④静物画(自然物)を描く II ・複数のモチーフを捉える力を身につける。 ・高原を意識して描くことを知る。	④立体模写(立方体複数) モチーフの質感に注目して、それぞれの位置や形をしっかりと再現する。光源と面によって違う陰影を意識して濃淡をつける。	
9	⑤石膏像を描く。 ・多くの情報を捉え画面に構成する力を身につける。 ・骨格や筋肉を意識させて描く。	⑤石膏デッサン(アクリル) これまでのモチーフにはなかった凹凸や立体感であることを捉える。実物に触れて確認し、見た目のイメージと触れたときのギャップを知る。細部に集中しすぎず、全体を意識すること。グレースーションで再現した多様な濃淡を表現する。	
10	3. 講評・反省会。 これまでの課題作品を振り返り、今後活かす。	3. 講評会・反省会	
11	※1クラスを2班に分け、前半は「鉛筆素描」・後半は「木炭素描」の		
12	2ローテーションで実施。		
1			
2			
3			